

御前崎沖ケーブル式海底地震計システムの回線切り替え作業 実施について

3月5日報道発表資料「御前崎沖ケーブル式海底地震計システムの回線切り替え作業の延期について」において延期をお知らせしていた、当該作業を下記日時において実施します。

この作業においてシステムの停止等を行う必要があり、作業期間中に海底地震計の周辺を震源とする地震が発生した場合は、緊急地震速報の発表が遅れることがあります。

記

1. 作業の実施日時

平成24年3月27日（火）14時から16時のうち約30分間

2. 作業目的、内容

御前崎陸上局システムと気象庁本庁、大阪管区气象台を結ぶ通信回線の強化を目的に、陸上局システムを停止して通信回線の切り換え作業を行います。

3. 作業による地震監視業務への影響

1) 緊急地震速報

作業期間中に海底地震計の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が2秒から12秒程度遅れる場合があります（別紙のとおり）。

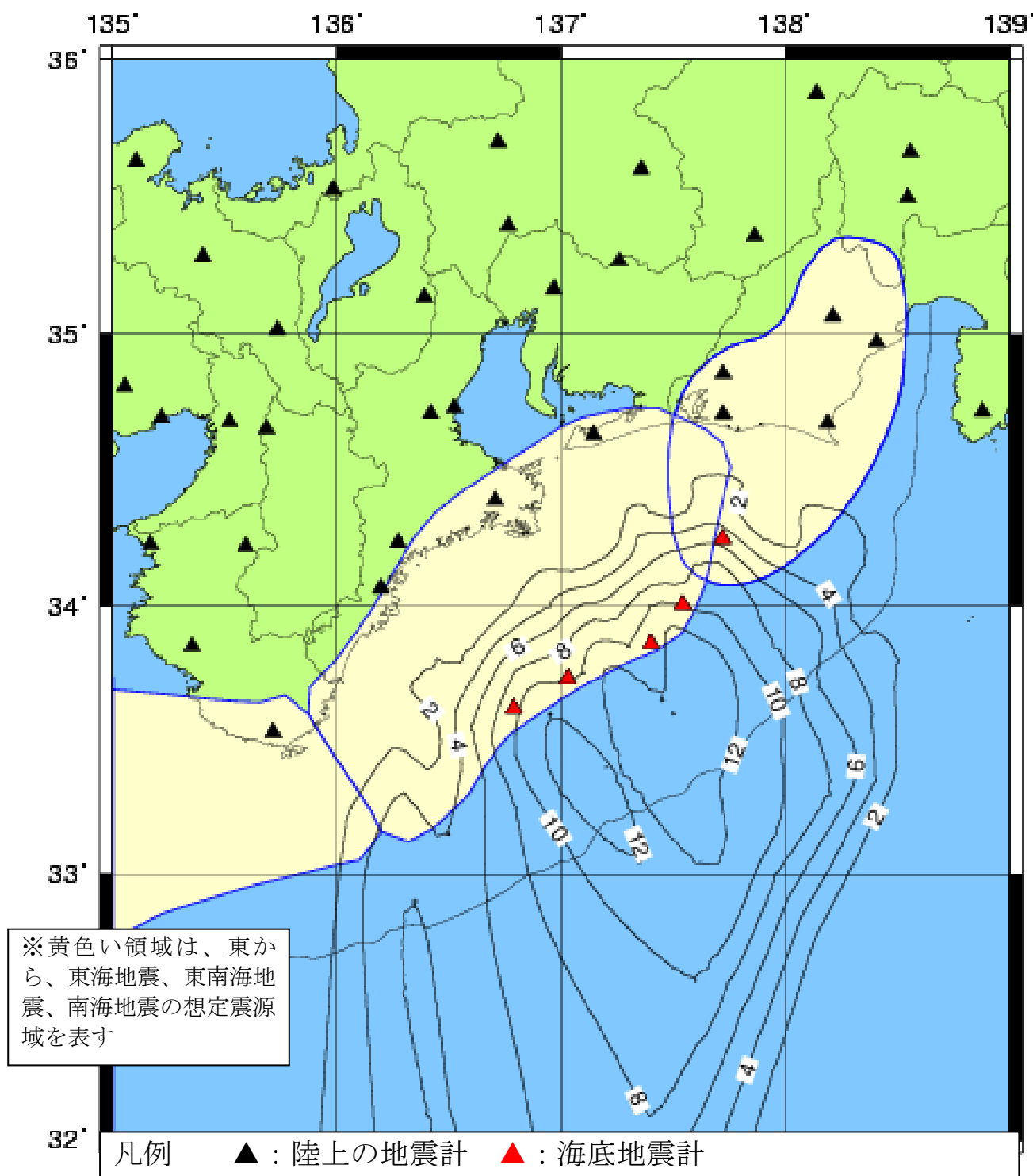
2) 津波警報及び地震情報

陸域の地震観測網を用いて震源やマグニチュードの計算を行ないませんので、津波警報、地震情報の発表には影響ありません。

4. その他

東海地域の地殻データや地震活動に異常が認められた場合は、作業を行いません。

海底地震計システムの回線切り替え作業に伴う 緊急地震速報への影響について



図中の等値線は、仮にその場所で地震が発生した際に、通常より緊急地震速報の発表がどのくらい遅れるかを、秒数で示したものの。